SIC KAWARABAN 4





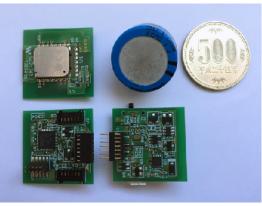
入居企業和介 その138

SIC に入居されている企業様をご紹介します。

>>> SIC Desk⑩ アルセンス株式会社

「センシング技術で"共感し合える"社会へ」





写直:基盤

【代表プロフィール】

アルセンス株式会社

代表取締役 滝口 收(たきぐち おさむ)

東京都出身、相模原市在住

【創業の経緯は?】

大手電機メーカー勤務を経て、2007年にセンシング技術を活用した センサやモジュールの研究・開発・評価を行う会社を設立した滝口さ ん。その後、より現場に近い仕事がしたいと考え、昨年12月にアルセ ンス株式会社を設立し、それを機にデスク10に入会されています。

【事業紹介】

アルセンス社では、センシングに関連する技術コンサルティング、コ ンセプトモデル研究開発、研究開発支援等の事業を実施しています。 センシング技術は、振動や波動といった様々な要素の情報を計測・収 集し、それらを数値化することによって、分野を問わず多くの現場の 課題を解決することに活用されています。

実際にセンシングを行う現場では、計測に必要な電源やスペースを 確保することが求められます。アルセンス社では、自然エネルギー等 の活用によって、より自然で計測に適した環境下でのセンシングを可 能なものとする仕組みの構築を提案・支援しています。たとえば、農 業の現場で植物のセンシングを行う場合、発電菌を活用するといった アイデアを実現させることで、コンパクトかつスピーディーにエネル ギーの確保が可能となります。

アルセンス社は、これからの時代は一社単独ではなく、多様な関係 者と連携・協力しながら課題の解決を図る時代であるという考えのも と、より柔軟で効果的なセンシングを目指して、日々現場の課題と向 き合っています。

【大切にしていることは】

センシングの目的はデータを集めることにあるのではなく、重要な のは得られたデータをどうするか、課題の解決につなげることができ るかどうかだと語る滝口さん。センシング技術により得られた情報は、 それを活かして課題の解決を図ろうとする現場のモチベーションを向

上させる効果もあることから、コンサルティングを行う上では、「相 手が根本的に何をやりたいのか」という視点で考えることが大切であ ると考えています。

【これからの夢または目標は?】

私たちの身の回りの多くが、言葉は発さずとも、振動や波動等を通 して様々なメッセージを発信しています。センシング技術はそれらの メッセージを可視化する技術です。滝口さんのこれからの夢は、とも に生き、共感し合える社会と居心地のいい空間を生み出していくこと であり、そのために皆が驚くような技術を開発していくことです。

【取材を通じて】

普段は冷静沈着なイメージのある滝口さんですが、「データは取れ て当たり前」と思われている中で、実は計測現場に行く前はとても緊 張しているのだそうです。「やってよかった」「こういうやり方があ るとは思わなかった」といった声が聞こえたときには、大きな達成感 を感じるそうです。

また、プライベートでは、音楽と野菜をテーマにしたイベントの運 営にも携わっているそうです。「興味を持ち、楽しむ」という心持ち が、結果として多様な人とのつながりを生み、そこから多くの刺激を 受けているという滝口さん。時には娘さんとのやり取りから、刺激を 受けることもあるそうです。

取材を通して、事業への熱い想いだけでなく、滝口さんの意外な一 面も垣間見ることができました。(SIC樽川)

アルセンス株式会社 SIC-1 Desk® E-Mail takiom@mua.biglobe.ne.jp

※センシング sensing

必要な情報を用意された手法や装置を使用して収集することをいう。

人や動物は対象に興味を抱いたときに感覚器官を動員して対象に関する情報を 収集する。情報収集の動機は生存のために必要である場合が多い。どんな場合 も対象について不確かさを減らし、より明確にしたいという欲求があり、それ を満たすことがセンシングの目的である。人間の感覚機能を対象にあわせて人 工的に拡大発展させ、情報を獲得する技術をセンシング技術という。

出所:日本大百科全書(ニッポニカ)

入居企業化少久

○今月の掲載記事紹介○

新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲示していますので、ご覧ください。

2月22日(水) (株)HOYEN 日刊工業新聞-

- 手近づくと点・消灯 照明用スイッチ -

3月10日(金) 髙瀨総合法律事務所 かながわ経済新聞 -

- 下請法改正のポイント①-

3月28日(火) (株)TSLソリューションズ 日本経済新聞-

- 金属の構造解析装置 輸出 -

3月29日(水) (株) 青電舎 神奈川新聞-

- マッチングを演出 -

塾牛募集中

2017 塾生募集 「ニュービジネスリーダー」育成セミナー

SIC 経営乳

「時代に打ち勝つ『経営力』が求められている」

本塾では、先端的な企業のケーススタディーを通じ、経営の理論と実践を学ぶとともに、塾生自らが事業構想を再構築することにより、「真の経営力」を養成することを最終目的としています。

本年も塾生の募集を開始いたしました。皆様からのお申込みをお 待ちしています。

<講義テーマ・日程>

	6	月	17	日	土	13:00~16:30	オリエンテーション
	7	月	7	目	金	13:00~18:00 (午後)	わが社の経営の現状を語る(1泊2日合宿)
	7	月	8	日	土	9:00~12:00 (午前)	わか社の経営の現状を語る(1/1/20日1日)
	7	月	29	日	土	13:00~16:30	現状を分析する
	9	月	2	目	±	13:00~16:30	存在意義を問う
	9	月	23	日	±	13:00~16:30	コアコンピタンスを定義する
	10	月	21	日	土	13:00~16:30	戦略シナリオを考える
	11	月	18	日	±	13:00~16:30	財務構造を改善する
	12	月	16	日	±	13:00~16:30	組織文化の変革を仕掛ける
	1	月	13	日	土	13:00~16:30	事業構想を打ち出す
	2	月	3	日	±	10:00~18:00	わが社の経営の将来を語る
ĺ	3	月	(日	時未	定)	独創会(同窓会)	先輩塾生(異業種の経営者)との交流 ※会費制

- 開催日 平成29年6月17日(土)∼
 - 平成30年2月3日(土) 全11回
- ●会 場 さがみはら産業創造センター (SIC-2)
- 募集人数 15 名
- 対 象 経営者または経営幹部
- 受 講 料 200,000円 (消費税別・1泊2日の合宿費用を含む)
- お申し込み・お問い合せ先 担当:片山(SIC-1)

第11期

谏報!

SIC職場リーダー養成塾

「巻き込み力」「他流試合」「社内実践」

職場リーダーに求められる役割とは、「部下やメンバーの特性を知り、潜在的に持つ力を最大限に引き出し、周囲を巻き込んで取り組み、成果を出す」ことだと考えます。

本年も塾生の募集を開始いたしました。皆様のご参加をお待ちしています。

カリキュラム

	日 程	講 義 内 容	会場
	4月下旬~5月下旬	事前ヒアリング	
第1回	6月3日(土) 10:00~17:00	オリエンテーション 職場のコミュニケーション①	産業会館
第2回	6月13日(火) 16:00~20:00	課題解決の枠組みを理解する	SIC
第3回	6月20日(火) 16:00~20:00	職場の問題を抽出する	
第4回	7月3日(月) 16:00~19:30	職場のコミュニケーション②	産業会館
第5回	7月11日(火) 16:00~20:00	職場の課題解決①	SIC
第6回	8月上旬	課題解決取り組みフォロー(個別指導:1回目)	SIC
第7回	9月6日(水) 16:00~20:00	職場の課題解決②	SIC
第8回	9月下旬	課題解決取り組みフォロー(個別指導:2回目)	(SIC)
実践期間	10月~11月 (2ヶ月間)	社内実践期間	
特別講義	11月8日(水) 17:00~19:00	プレゼンテーションを学ぶ	SIC
第9回	12月7日(木) 13:00~17:00	成果発表会 ※終了後、交流会(会費制)を開催します。	サン・エー/ さがみはら

- ●開催日 平成29年6月3日(土)~
 - 平成29年12月7日(木) 全9回
- ●会 場 相模原市立産業会館、SIC-2大会議室 他
- ●募集人数 16名(1社3名まで受講可)
- ●対 象 中小・中堅企業の職場のリーダー及びリーダー候補
- 受 講 料 118,000円(消費税別)
- お申し込み・お問い合せ先 担当:五島 (SIC-1)

○各社新聞について○

- SIC-1のロビーに下記の新聞を配置しています。
 - ・日刊工業新聞
- · 日本経済新聞
- ・日経産業新聞
- · 日経流通新聞
- 神奈川新聞
- · 相模経済新聞
- ・電子デバイス産業新聞
- かながわ経済新聞

皆さま、どうぞ、ご利用ください。

ーご意見箱のお返事ですー

【ご意見その1】 SIC-1.2

電子マネーの使える自販機を増やして欲しいです。また、「15本買うと1本もらえる・・・・」「LINEにポイントたまる」自販機の導入も検討していただけるとうれしいです。

【SICからの回答】

2月、3月に今回のご意見と同様に、suicaやpasmoをご利用になりたいとのご要望をいただきました。

センター内に設置している自動販売機業者に問い合わせしましたところ、各エリア内で利用数の多い販売機から順に、電子マネーの使える自販機へと設置換えをしているそうです。引き続き、SICとしは、サービス向上のためにも、出来るだけ早い設置を働きかけています。

【ご意見その2】 S I C-1.2

ランチタイムの出店について、毎日違うお店が出店すると良いと 思います。(1週間に1回、色々なお店にしたらもっと良いと思い ます。)

【SICからの回答】

センターでは、SICスタッフを含め、皆さまの働く環境をより 良いものにするため、昼食についても検討を重ねています。フード スタンドなどSICへ出店いただける方々を誘致していますが、ご 紹介いただける移動販売のオーナーの方がいらっしゃいましたら、ス タッフへご連絡ください。皆さまからの情報をお待ちしています。

☆ご意見をお待ちしています。☆

編集 後記

4 月、色々なスタートの日です。1日・2日は相模原の桜まつりが開催されました。寒い日が多かったせいもあって、桜のアーチが2分咲きぐらいだったそうです。東京都心は満開だったようですが、ここ橋本は少し気温が低いせいもあって、1週間ほど遅い満開を迎えそうです。今、開花宣言の地域があるように、人のスタートもいろいろです。満開が楽しみですね。 荻島